

和 学 鍛

今年の桜の開花は全国的に平年より早いらしく、県内でもすでに開花宣言が出されたというニュースを耳にしました。春分を過ぎても霜が降りる寒い朝が続いた昨年とは違い、4月を待たずして桜は満開になりそうです。

この3月は、一昨日の見事な優勝で幕を

閉じたWBCに日本中が沸いた月でもあ

りました。ある新聞では、「輝きを放った『和』

の野球」という見出しが躍っていました。コロナ禍を経て6年ぶりに開催された大会が盛り上がったのは、劇的な展開が続いた試合はもちろんなのですが、プレー以前の選手

たちの姿が支持を集めたのだといいます。新たな仲間を迎えるための心遣い、チームに合流できなかった仲間を気遣う気持ち、なかなか力が発揮できなくて結果が出せない仲間への声かけと必死でチームを盛り上げようとする選手の姿、そして、それに応える全力プレー。お互いを認め合い、受け容れて支え合うそんな選手たちの姿に多くの人が心を打たれ、感動を呼んだのでしよう。

『和』を体現した戦いぶりに加え、大会後の記者会見で、最年長のダルビッシュ選手が言った「みんなから多くのことを学んだ」そして、MVPの大谷選手が言った「(次を目指して)もっともっと素晴らしい選手になれるように頑張っていきたい」など、ここにも朝明中の校訓でもある『和・学・鍛』があるのだと思います。

さて、学校では静かに移り行く時を感じながら次の季節の到来を待っているような時季でもあります。卒業式が終わり、3年生のいなくなった学校は、朝の自転車置き場、始業ベルが鳴ってもがらんとした2階の教室に、淋しさと安どと物足りなさの入り混じった雰囲気は漂っていましたが、もう2週間足らずで1、2年生はそれぞれひとつ上の学年に進級し、また、ピカピカの1年生がこの朝明中の門をくぐります。

令和4年度ももう少しで終わろうとしています。相変わらず、コロナ対応に気を遣いながらの一年でした。そんな中でも、朝明中のみんなは、明るく、前向きに挑戦をし続け、毎日の授業はもちろん、体育祭や文化祭をはじめ、いろいろな行事も見事にやり遂げました。そして、お互いを大切に、よりよい集団生活を作り上げることができる生徒に成長していました。この一年を大過なく送ることができたのは、いつも子どもたちの安心安全のために注力されたご家庭でのご協力のおかげでありますことを心より感謝申し上げます。

最近では、各地のお花見も4年ぶりに解禁になるなど、さまざまな行事も制限がなくなるという知らせをよく聞くようになりました。コロナもようやく明るいきざしが見え始めてきたようでもあります。新たな年度は、本来の教育活動が戻ってきます。



ご家庭でもぜひ、年度が新しくなるこの機会に、学習や生活についての振り返りと今後の展望を話題にさせていただけたらと思います。また、次年度も引き続きご支援いただきますようお願いいたします。

第75回卒業証書授与式

3月7日（火）、第75回朝明中学校卒業証書授与式を迎えることができました。卒業生と教職員、保護者の方々、廣瀬四日市市教育長様をはじめ、日頃より子どもたちのためにお力添えをいただいている地域の皆様をお迎えし、保護者の皆様、在校生代表にも見守られ、当日は183名の卒業生に直接卒業証書を手渡すことができました。

また、去年は歌うことが出来なかった卒業生の合唱も復活し、『群青』ではバイオリンの生演奏をまじえて圧巻の歌声を響かせ、会場のすべての人の心に大きな感動を与えてくれました。



おかげさまで、天気にも恵まれ、素晴らしい卒業証書授与式になりました。保護者の皆さま、ありがとうございました。そして、何より、3年生の皆さん、卒業おめでとう！



卒業生の入場通路には、在校生からの贈る言葉が壁いっぱい広がっていました。バトンも確かに引き継がれました。

朝明中学校通信『和学鍛』は、本号をもって本年度の最終号とさせていただきます。今後も、子どもたちの健全育成のために、家庭、地域、学校がそれぞれの役割を果たし、連携して取り組んでいけるようご協力をお願いします。これまで、いろいろな面で支えていただいた保護者の皆様、地域の皆様に心より感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

校長 海戸田 恵一

